

製品名: PLCG2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81412**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	148kDa

抗原情報

遺伝子名	PLCG2
別名	FCAS3; APLAID; PLC-IV; PLC-gamma-2
遺伝子 ID	5336.0
SwissProt ID	P16885
免疫原	ヒト PLCG2 の合成ペプチド (AA: ヒトホスホリパーゼ Cg2 (cERDINSLpYDVSRMYV) のリン酸化チロシン 753)。

背景

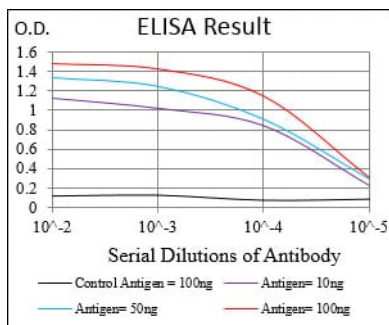
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、カルシウムを補酵素として、1-ホスファチジル-1D-ミオイノシトール 4,5-ビスリン

酸から 1D-ミオイノシトール 1,4,5-トリスリン酸 (IP3) とジアシルグリセロール (DAG) への変換を触媒する膜貫通シグナル伝達酵素です。IP3 と DAG は、成長因子受容体や免疫系受容体からのシグナルを細胞膜を介して伝達する上で重要なセカンドメッセンジャー分子です。この遺伝子の変異は、自己炎症、抗体欠損、免疫調節異常症候群、および家族性風邪自己炎症症候群 3 で発見されています。

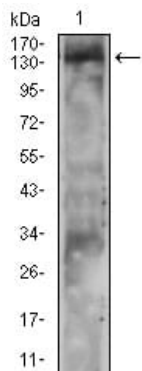
研究分野

-

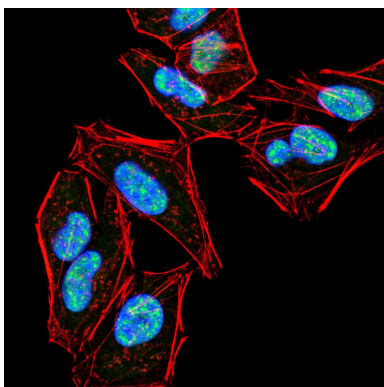
画像データ



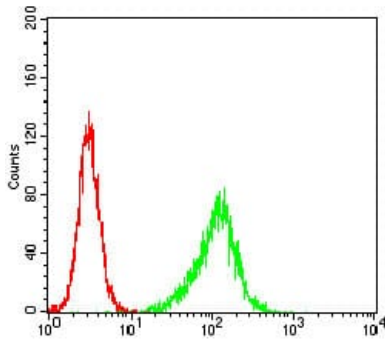
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



A431 細胞溶解物に対する PLCG2 マウス mAb を使用したウエスタン プロット分析。



PLCG2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



PLCG2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。